



今月の表紙 日光キスゲまつり



ニッコウキスゲの開花時期にあわせて開催される日光キスゲまつり。今年は6月15日(火)から7月11日(日)にかけて、ボサノライブや落語会、手打ちそば体験、土苗作りにチャレンジ、牧場バター作りなど、さまざまなイベントが行われました。

7月4日(日)には、自然解説員と歩く初夏の霧降三滝が行われました。これは、地元の人にもあまり知られていない3つの美しい滝、丁字滝や玉簾滝、マックラ滝を巡るものです。18名の参加者の皆さんは、日光パークボランティアの山崎晃さん(鹿沼市)から、さまざまな動植物の説明を聞きながら大自然を満喫していました。

また、8月31日で営業が終了となる霧降高原リフトに、満開のキスゲを見ようと多くの行楽客が訪れました。リフトに乗ってキスゲを見られるのは今年限りですが、来年は遊歩道を整備し、歩きながらキスゲを見ることが出来ます。



竹の宵まつり

7月7日(水)から湯西川温泉街で夏の夜を飾る竹の宵まつりが始まりました。
初日は、オープニングイベントとして、湯西川上地区獅子舞(よせ太鼓)や民話の語りべ、着付け舞などが披露されました。
大粒の雨が降るあいにくの天気でしたが、会場にはこの日を心待ちにしていた地元の方や、浴衣姿の宿泊客などが大勢集まりました。

集まった人たちは、よせ太鼓の心地よい音色とリズムに心が和み、一生懸命練習した地元の子どものちの語りべや着付け舞に笑顔がこぼれていました。
このまつりは、8月1日(日)まで開催され、毎日午後7時から9時まで竹灯籠(たけとうろう)に明かりがともされます。週末には語りべや着付け舞のほか、平家琵琶の演奏なども行われ、湯西川温泉街は、訪れる人を竹灯籠のやわらかな明かりで幻想的な世界へとといざないます。



パバもいっしょでうれいな!

7月4日(日)、地域子育て支援センターで「パバもいっしょでうれいな! 七夕かざり製作」が開催されました。
子どもたちは、家族に手伝ってもらいながら、折り紙や色を塗った織り姫・ひこ星のカードでササを飾り、願い事を書いた短冊を結びました。最後に、出来上がった飾りを手に、「たなばたさま」を歌い、楽しい時間を過ごしました。



クリーンセンター竣工式

7月6日(火)、千本木のクリーンセンターで竣工式が行われました。3月に工事を終えていた同センターですが、6月まで燃えるごみを受け入れて性能試験を行ってききました。このたび問題ないことが確認され、7月からの本稼働となりました。
ごみ処理方法や排気、排水などに最新技術を取り入れた、環境にやさしい同センターは、今後、市の環境学習の拠点としても利用されます。



てるてる坊主大会

6月19日(土)、六斎市に合わせ、てるてる坊主大会が開催されました。
この大会は初めての開催でしたが、午前10時に受付が始まると、小ささまさま、色とりどりのてるてる坊主が次々と出展され、その数は48個になりました。そして午後1時過ぎ、優秀賞と最優秀賞の



発表が行われました。
朝から雨の降り出しそうな曇り空でしたが、てるてる坊主の力が効いたのか、大会終了まで雨が降ることはありませんでした。
また、よさこい踊りの披露やバンドの演奏などが、会場を盛り上げました。



自殺予防対策講演会

7月3日(土)、今市文化会館で自殺予防対策講演会が開催されました。
講演を行った茂幸雄氏は、自殺多発地である福井県の東尋坊で、6年前からNPO法人を立ち上げ、自殺防止支援活動を行い、約200名の命を救ってきました。参加者は、「声を掛け、悩みを聞き、解決する手伝いをすることが大切」という話に熱心に耳を傾けていました。



歯ツピー健口フェスタ

7月3日(土)、今市保健福祉センターで歯ツピー健口フェスタが開催されました。
会場では、歯のみがき方や虫歯になりやすい診断、お口の健康体操のほか、80歳以上で20本以上歯のある方の表彰なども行われました。親子3人で来ていた高村さん(鹿沼市)は、「初めて来ましたが、歯に関心があったので楽しかったです」と話してくれました。

いますぽフェスタ 2010



6月13日(日)、根室の今市青少年スポーツセンターでいますぽフェスタ2010が開催されました。

この日は、県民の日に合わせて各施設が無料開放。そのほかにも、とちぎテレビでおなじみの大縄跳びチャレンジ番組パワフルJUMPやノルディックウォーク体験会、キッズサッカースクール、フリーマーケットなどが行われました。

今市ボンバーズの阿久津さんの選手宣誓で始まったパワフルJUMPには、市内4チームを含む5チームが参加。予選の結果、市内のチームは惜しくも敗れ、本戦への出場はできませんでしたが、皆さん練習の成果を発揮しようと精一杯ジャンプしていました。

